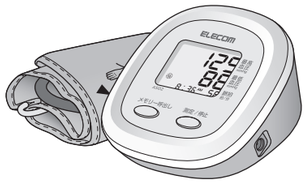
上腕式血圧計 AS02

ELECOM
Healthcare



取扱説明書

2024 年 4 月作成　A133651-1-A

販 売 業 者　エレコム株式会社
https://www.elecom.co.jp/
製造販売業者　日本精密測器株式会社
本 社 ・ 工 場　〒377-0293　群馬県渋川市中郷 2508-13

動作原理
動脈を腕帯で圧迫すると、心拍に合わせて脈動が起こり、腕帯内の圧力が脈動と同調します。この脈動は腕帯の圧迫状況に応じ変化します。オシロメトリック式の血圧計は、腕帯の圧力を徐々に変化させたときに見られる脈動の大きさの変化をもとに最高血圧及び最低血圧を決定します。

安全上のご注意

ご使用の前に、この［安全上のご注意］をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、本品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

禁忌・禁止	本品の設計限界または不正使用等、責任範囲を超える対象および使用方法。(誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。)
注　意	本品の使用にあたっての一般的な注意事項。 (誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。)

※物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

禁忌・禁止

＜適用対象（患者）＞
1) 乳幼児および小児または意思表示のできない人には使用しないこと。けがや事故をおこすおそれがあります。

＜併用医療機器＞「相互作用の項参照」
1) MRI 検査をおこなう際は本品を検査室に持ち込まないこと。MR 装置への吸着や、熱傷等のおそれがあります。
2) 高圧酸素患者治療装置に本品を持ち込まないこと。誤作動や破損、爆発のおそれがあります。

＜使用方法＞
1) 測定結果の自己判断や自己判断による治療はしないこと。必ず医師の指導、指示に従ってください。
2) 傷など未治癒の腕に腕帯を巻かないこと。症状を悪化させるおそれがあります。
3) 点滴静脈注射や輸血をおこなっている腕に腕帯を巻かないこと。けがや事故をおこすおそれがあります。
4) 可燃性ガスおよび支燃性ガスの近くでは使用しないこと。発火・引火のおそれがあります。
5) 耐用期間を超えて使用しないこと。正しく測定できないおそれがあります。
6) 不特定多数の人が対象となる医療機関や公共の場所では使用しないこと。事故やトラブルの原因になります。

注　意

【使用上の注意】
＜使用注意＞
1) 次の状態や症状または過去に処置を受けたことのある方は医師に相談のうえ使用すること。正しく測定できないおそれがあります。
・妊娠中毒症を含む妊婦　・糖尿病　・肝臓病　・動脈硬化
・高血圧症　・不整脈　・乳腺切除した方　・血管内挿管
・血管内治療　・動静脈 (A-V) シャント　・リンパ節の除去

＜重要な基本的注意＞
1) 異常加圧が発生した場合は、測定／停止ボタンで測定を中止すること。
2) 血圧は以下の要因で変動するので注意すること。
・時刻や季節　・高血圧治療などの薬剤　・飲食 (アルコールを含む)
・喫煙　・身体活動　・精神的緊張　・入浴
・尿意　・会話　・その他の環境 (病院での受診中など)
・測定姿勢 (心臓に対する腕帯の高さを含む)
3) 本品を水や消毒液等に浸さないこと。
4) 腕帯の締め付けにより、一過性の内出血が発生し赤みが残る可能性があるため、痛みを感じた場合には測定／停止ボタンで測定を中止すること。
5) 救急搬送中の患者の血圧測定に使用しないこと。
6) 必要以上の頻度で測定をおこなわないこと。
7) 血圧測定の目的以外には使用しないこと。また、上腕以外に腕帯を巻かないこと。故障や事故の原因になります。
8) 次のような場所では本品を使用しないこと。誤動作や故障の原因になります。
・直射日光のあたる場所
・温度差の激しい場所や高温多湿な場所
・ほこりの多い場所
9) 落としたり、強い衝撃を与えないこと。誤動作や故障の原因になります。
10) 使用前に上腕の周囲を測り、適用範囲内であることを確認すること。適用範囲外で使用すると、誤差の原因になります。
11) 付属品は指定されたものを使うこと。付属品以外を使用すると、誤差の原因になります。
12) エアー管が折れ曲がったりねじれたりしていないことを確認すること。圧力がかかったまま腕帯から空気が抜けず、血流障害を起こすおそれがあります。
13) 腕帯は測定部位に正しく装着し、測定中は心臓の高さに保つこと。誤った装着や高さのズレは誤差の原因になります。
14) コードを引っ張り AC アダプターを抜かないこと。コードが断線し、火災や感電の原因になります。
15) 濡れた手で AC アダプターの抜き差しをおこなったり、ピンセットや導電性のあるものでふれたりしないこと。
16) 電池交換などで本品の電池または電池端子にふれているときや AC アダプターを抜き差しする際に AC アダプターのプラグにふれているときは、他の人にふれないこと。
17) AC アダプターでの使用中に本品に異常が発生した場合は、コンセントから AC アダプターのプラグを抜き、確実に電源を切ること。家具などの影にあるコンセントに AC アダプターのプラグを差し込むと緊急対処ができない場合があります。
18) 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を同時に使わないこと。発熱などにより故障の原因になります。
19) 本品の上に重いものをのせたり、エアー管を縛ったりしないこと。故障の原因になります。
20) 分解・修理・改造はおこなわないこと。誤動作や故障の原因になります。

＜相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）＞
[併用禁忌] (併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MRI 装置（磁気共鳴画像診断装置）	検査室に本品を持ち込まないこと。 MRI検査をおこなうときは、本品を患者から取り外すこと。	誘導起電力により局部的な発熱で火傷のおそれがある。 また、磁気により本品が吸着されるおそれがある。
高圧酸素患者治療装置	装置内に持ち込まないこと。	誤動作や破損及び経時的な劣化をきたすおそれがある。また、爆発の誘因となるおそれがある。

[併用注意] (併用に注意すること)
1) 電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器（ペースメーカ、植込み型除細動器など）：誤動作のおそれがあります。
2) 腕帯を巻いた側の腕や手に装着した医療機器：腕帯の加圧により医療機器の機能に一時的な影響を及ぼすおそれがあります。
3) 電気手術器（電気メス）：電気メスの高周波エネルギーにより本品が誤動作する可能性があります。
4) 装着形の医用電子機器（心電計など）：誤動作のおそれがあります。
5) 電磁波を発生する機器（電子レンジ／電磁調理器など）：誤動作や故障の原因になります。
6) 電波を発生する機器（携帯電話／ PHS など）は、本品から 30cm 以上離して使用すること。誤動作や故障の原因になります。

＜不具合・有害事象＞
1) 不具合：動作不良、故障、破損、誤計測
2) 有害事象：痛み、アレルギー反応、血行障害

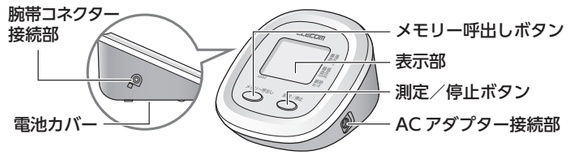
＜妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用＞
1) 妊婦、産婦が使用する場合は、医師に相談のうえ使用すること。
2) 乳幼児および小児または意思表示のできない人には使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】
1) 次回の使用に支障のないよう清潔に保ち湿気の少ないところに保管すること。
保管環境：温度 -20 ～ 60℃、相対湿度 10 ～ 95% RH (結露なきこと)
2) 長期間使用しないときには、電池を取り外すこと。電池の液もれが起こり、本品を傷める原因になります。
3) 耐用期間:5 年あるいは 30,000 回(消耗品を除く) [自己認証(当社データによる)]
4) 本品には電池や小さな部品が含まれているので、お子様だけで使わせたり乳幼児やペットの届くところに保管しないこと。けがや誤飲のおそれがあります。
5) エアー管やコードによる窒息を避けるため、お子様の手の届くところに本品を保管したり、エアー管やコードを首に掛けたりしないこと。エアー管やコードによる窒息のおそれがあります。
6) 本品を長期間使用しないときには、電池を取り外しておくこと。電池を長期間入れたままにすると電池の液もれが起こり、本品を傷める原因になります。

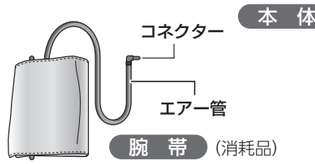
【保守・点検に係る事項】
1) 使用後は汚れなどがないか確認すること。
2) 本品の表面の汚れは、ぬるま湯や石けん水を含ませた布でよく拭き取り、乾いた柔らかい布で乾拭きすること。
3) 腕帯の汚れは中性洗剤を使い、表面をやさしくたたいて落とすこと。
4) エアー管に水が入らないように注意し、しっかり乾かすこと。
5) 洗濯機を使用したりこすったりしないこと。
6) ベンジン、シンナー、ガソリン、アルコールなどの溶剤は使用しないこと。本品を傷める原因になります。
7) 動かなくなったり、異常がある場合は、直ちに使用を中止すること。お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
8) 本品および使用済みの電池を廃棄する場合は、各自治体の規則に従い適切に処分すること。

次のものが揃っていますか？

次のものが揃っているかご確認ください。不足しているものがあるときには、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。



本　体



腕　帯（消耗品）

取扱説明書

ポーチ

- 乾電池は付属していません。単3形アルカリ乾電池4本を別途ご準備ください。
- 専用ACアダプターは本品に付属されていません。別売品の専用AC アダプターADP-W5-11を別途ご用意ください。

補用品

製品性能を維持するために、付属品は指定されたものをお使いください。
補用品のお買い求めは、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
ご注文の際は、型式もあわせてお申し付けください。

品　名	型　式	数　量	備　考
腕　帯	HCM-CUFFAS02	1 個	測定可能上腕周囲 約 22 ～ 42cm
AC アダプター	ADP-W5-11	1 個	

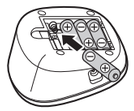
電池の挿入

① 電池カバーを開ける

本品裏側にある電池カバーを開けてください。

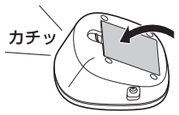
② 電池を入れる

本品の ⊕⊖ 表示に合わせて乾電池を（ー）側から挿入してください。
（+）側から入れると、電極バネを破損させる恐れがあります。



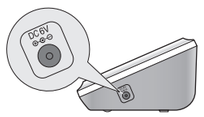
③ 電池カバーを閉める

カチッと音がするまでしっかりと電池カバーを閉めてください。



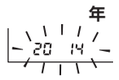
電池残量が少なくなると表示部の左上に電池交換マーク［ ］が点滅します。
電池交換マークが点滅表示から点灯表示になると血圧測定をおこなうことはできません。電池交換マークが表示されたら 4 本全てを同じ種類の新しい単 3 形アルカリ乾電池と交換してください。

本品は、専用 AC アダプターで使用することもできます。
専用 AC アダプターを本体側面の AC アダプター接続部に接続してください。
専用 AC アダプターは本品に付属されていません。別売品の専用 AC アダプター ADP-W5-11 を別途ご用意ください。



時計を設定する

電池が挿入されると表示部に年（20　14）が点滅します。
時計の設定は、年、月、日、時、分の順におこないます。

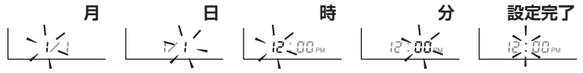


① ［ 年 ］をあわせる

メモリー呼出しボタンを押すと数値は大きくなります。
年をあわせたら測定／停止ボタンを押してください。
次の設定に移ります。

② 同様に［月］、［日］、［時］、［分］をあわせる

メモリー呼出しボタンを押して数値を合わせたら、測定／停止ボタンを押して決定してください。
［分］を決定すると時計設定は終了です。



時計の設定をやり直す場合は、一度電池を取り外し、測定／停止ボタンを押して、表示が消えたことを確認してから、もう一度電池を入れてください。

正しく測定するための注意事項

血圧は、測定の条件が変わると値も変わります。毎日同じ時刻に同じ環境で測定するように心がけましょう。

● **朝と夜、測定する時刻を決める**
起床後と就寝前が 1 日の内で最も血圧が安定すると言われています。朝は、起床後 1 時間以内で食事の前に、夜は、食事の後 1 時間以上間をあけて測定します。

● **測定する腕（左腕／右腕）を決める**
左右の腕で血圧値が異なることがあります。家庭で測定するときにはいつも決めた腕で測定します。

● **同じ環境、静かな場所で測定する**
血圧は周囲の音や動きにも影響を受けます。また、寒いと血圧は高くなります。20℃くらいの室温が血圧測定に適しています。

● **リラックスして測定する**
緊張したり心が動揺していると血圧は高くなります。深呼吸を数回して 5 分くらい安静にしてから測定します。

● **測定中は静かに、動かない**
会話をしたり体を動かしたりすると血圧は変化します。また、本品は血圧測定方法にオシロメトリック法を採用しています。オシロメトリック法はかすかな脈動変化をとらえて血圧を測定します。このため、測定中に会話をしたり腕や体を動かしたりすると正しい測定結果となりません。

ポイント
・尿意があるときはトイレに行ってから測定する。
・喫煙直後に測定しない。
・運動、入浴後はしばらくしてから測定する。
尿意があるとき、食事や喫煙の直後、運動中や運動直後は血圧が高くなります。

健康管理アプリ「ECLEAR plus」を使う

本製品を活用するための健康管理アプリ「ECLEAR plus」に測定結果を入力することで、血圧の変化をグラフなどで確認できます。

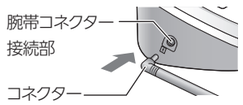
＜ダウンロードはこちら＞
https://app.elecom.co.jp/eclear_plus/
対応OS※　iOS14～17、Android10～14
※2024年1月現在
※対応端末およびOSについてはダウンロードページよりご確認ください。
※本製品に対してすべての携帯電話、Bluetooth®機器、アプリケーションとの接続を保証するものではありません。

・データ通信サービスを利用してアプリをダウンロードする場合は、別途パケット通信料が必要になる場合があります。
・本製品は Bluetooth 通信機能を搭載しておりません。健康管理アプリ「ECLEAR plus」で血圧値を管理するには本製品で測定した結果を手動で入力する必要があります。

腕帯を巻く

① 本体と腕帯を接続する

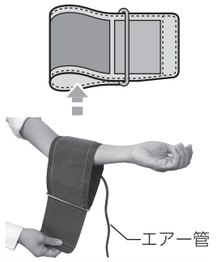
血圧の測定を開始する前に腕帯のコネクターを血圧計本体の腕帯コネクター接続部にしっかりと差し込み、腕帯を本体に接続してください。



② 椅子に座り腕帯を巻く

エアー管が手の方にくるようにして、腕帯に左腕を通してください。

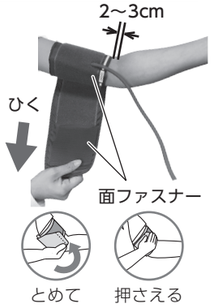
※腕帯を左腕に巻けない場合は右腕に巻いてください。ただし測定は毎回決めた方の腕でおこなってください。



次のような状態で腕帯を巻いた場合には正しく測定できません。
・厚手の衣類の上から　　・衣類の袖を巻き上げて
・血液の循環が妨げられるようなぴったりした衣類の上から

③ 腕帯をとめる

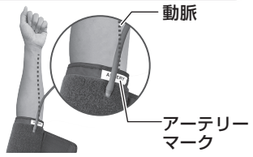
腕帯を肘関節より 2 ～ 3 cm 上の位置にあわせて面ファスナーでとめます。腕帯の表面を押さえてしっかりととめてください。



腕帯が簡単に回ったり上下に動いてしまう場合は、きつく巻き直してください。また、反対にきつく巻きすぎないように注意してください。

④ 向きをあわせる

腕帯のアーテリーマークを動脈の上にあわせるか、エアー管を腕の中心にあわせてください。



⑤ テーブルの上に腕をのせる

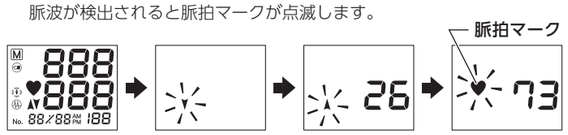
足を組まずに両足を床に置いた状態で椅子に座り、背もたれにもたれてリラックスしてください。テーブルの上に測定する方の腕を自然にのばし、腕帯が心臓の高さになるようにしてください。
腕帯が心臓よりも高いと測定値は低く、心臓よりも低いと測定値は高くなる傾向があります。

仰向けに横になって測定をおこなうこともできます。その場合にも腕帯を心臓の高さにあわせてください。
測定姿勢により（座って測定する場合と横になって測定する場合では）測定値は多少異なります。

血圧を測定する

① 測定を開始する

測定／停止ボタンを押してください。自動測定を開始します。
脈波が検出されると脈拍マークが点滅します。



測定を中止したい場合は、測定／停止ボタンを押してください。空気が抜けて電源が切れます。

② 測定結果の表示

腕帯から空気が抜け測定が終了し、結果が表示されます。

③ 電源を切る

測定／停止ボタンを押すと測定結果が保存され電源が切れます。

※ 電源を切り忘れても、約 3 分経つと自動的に電源が切れ測定結果が保存されます。

体動マーク
体が動くと血圧は変化するため、測定中に体が動いた場合には正しい測定結果とは言えません。体を動かさないようにしてもう一度測定をおこなうことをおすすめします。

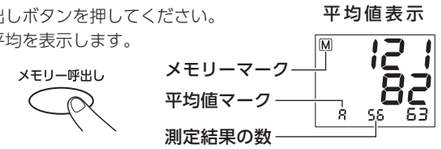
不規則脈波リズムマーク
測定中の脈波の間隔が一定でなかったときには、不規則脈波リズムマークを表示します。

測定結果の表示と削除

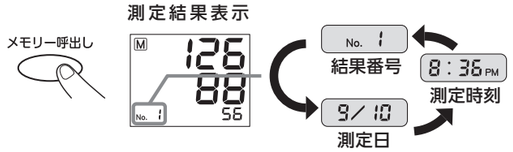
本品には 60 回分の測定結果とその平均を保存できます。

① 測定結果を表示する

メモリー呼出しボタンを押してください。
測定結果の平均を表示します。



その後、メモリー呼出しボタンを押す毎に、測定結果を最新の測定結果からさかのぼって表示します。



結果番号、測定日、測定時刻の表示は自動で切り替わります。

② 測定結果を削除する

1. メモリー呼出しボタンを押し、削除したい測定結果を表示します。
   ※全ての測定結果を削除するには、平均を表示してください。
2. メモリー呼出しボタンを 4 秒以上押し続けます。
3. 測定結果が点滅し始めるので、そのまま押し続けてください。
4. 測定結果が削除されます。

一度削除した測定結果をもとに戻すことはできません。

困ったなと思ったら

こんなとき	原　因	対　策
測定値が異常に高くまたは低く表示される	腕帯を心臓の高さにあわせて測定していない	測定中は腕帯を心臓の高さにあわせてください
	腕帯が正しく巻かれていない	腕帯の巻き方を確認してください
	測定中に動いたり会話をしたりした	測定中は動いたり会話をしたりしないでください
測定値がいつもと異なる	心身状態や測定状態が血圧に影響を与えている	いつもと同じ条件のもとで測定してください
病院での測定と値が異なる	病院での緊張感、ご家庭でのリラックス感などの精神状態が血圧に影響を与えている	ご家庭で測定した血圧を記録し、医師の指導や診断をお受け下さい
Err -1 が表示された	測定中に動いたり会話をした	測定中は動いたり会話をしたりしないでください
Err -2 が表示された	エアー管が折れ曲がっている	エアー管の折れや潰れがないか確認してください
	腕帯コネクターがしっかりと接続されていない	腕帯コネクターの接続を確認してください
	腕帯が正しく巻かれていない	腕帯の巻き方を確認してください
	測定中に動いたり会話をした	測定中は動いたり会話をしたりしないでください
Err 300 が表示された	測定中に手や腕を動かしたり、会話をしたため最大加圧まで加圧された	測定中は動いたり会話をしたりしないでください
ボタンを押しても何も表示されない（測定が開始しない）	電池が消耗している	4 本すべて新しい電池と交換してください
	電池の ＋と－の向きが間違っている	電池を正しく入れなおしてください
	電極が汚れている	乾いた布できれいにしてください
0 0 が表示された	電池挿入時または AC アダプター接続時にボタンを押していた	測定／停止ボタンを押して、一度電源を切ってください

以上の方法でも、測定が正常にできないときは、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

知っておきましょう

血圧とは
血管内を流れる血液が血管の内壁におよぼす圧力のことをいいます。

最高血圧（収縮期血圧）
心臓が収縮して血液が送り出され血管内の圧力が上がります。

最低血圧（拡張期血圧）
心臓が拡張して血液が心臓にもどり血管内の圧力が下がります。

血圧は常に変化しています
血圧は心身のいろいろな条件で変化し、いつも一定のものではありません。以下の要因で血圧は変動します。
・時刻や季節　・身体活動　・高血圧治療などの薬剤　・喫煙
・飲食（アルコールを含む）　・精神的緊張　・入浴　・尿意　・会話
・その他の環境（病院での受診中など）・測定姿勢（心臓に対する腕帯の高さを含む）
安静状態での血圧値を正確につかむためには、5 分以上休憩をいれながら何回か測定することをおすすめします。

高血圧とは
日本高血圧学会では血圧を右の表のように分類しています。しかし、血圧値は人種、地域、性別、年齢によってかなりの差がみられ、人により目標値も異なります。測定結果はご自分で判断せずに必ず医師の指導を受けてください。

分類	診察室血圧			家庭内血圧		
	収縮期血圧（最高血圧）		拡張期血圧（最低血圧）	収縮期血圧（最高血圧）		拡張期血圧（最低血圧）
正常血圧	＜120	かつ	＜80	＜115	かつ	＜75
正常高値血圧	120～129	かつ	＜80	115～124	かつ	＜75
高値血圧	130～139	かつ/または	80～89	125～134	かつ/または	75～84
I度高血圧	140～159	かつ/または	90～99	135～144	かつ/または	85～89
II度高血圧	160～179	かつ/または	100～109	145～159	かつ/または	90～99
III度高血圧	≧180	かつ/または	≧110	≧160	かつ/または	≧100
（孤立性）収縮期高血圧	≧140	かつ	＜90	≧135	かつ	＜85

日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン 2019」

本品の取り扱いに関して

血圧計の性能は使用した回数、使用・保管方法、年数に影響を受けて劣化します。本品（消耗品を除く）の耐用期間は 5 年あるいは 30,000 回です。

● 本品のお手入れ
使用後は汚れなどがないか確認してください。本品の表面の汚れはぬるま湯や石けん水を含ませた布でよく拭き取り、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。腕帯の汚れは中性洗剤を使い、表面をやさしくたたくようにしてとります。エアー管に水が入らないように注意し、しっかり乾かしてください。洗濯機を使用したりこすったりしないでください。
ベンジン、シンナー、ガソリン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。本品を傷める原因になります。

● 本品の保管
保管の際にポーチを使用すると、本品を保護することができます。ポーチに入れる際は、本品から腕帯のコネクターや AC アダプターを取り外してください。
次のような場所に保管、または長時間放置しないでください。故障、本品の劣化の原因になります。
・直射日光のあたる場所　　・温度差の激しい場所や高温多湿な場所
・ほこりの多い場所　　・防虫剤の入ったタンス等
本品を長期間使用しないときには、電池を取り外しておいてください。電池を入れたままにすると電池の液もれが起こり本品を傷める原因になります。

● 本品の取り扱い
・AC アダプターや電池の取り外しは、必ず血圧計の電源を切ってからおこなってください。故障の原因になります。
・腕帯を血圧計から取り外すときには、コネクターを持っておこなってください。
・本品の上に重いものをのせたりエアー管をしばったりしないでください。
・ボタンや表示部を強く押さないでください。また、表示部を下にして置かないでください。本品を傷めたり誤動作の原因になります。
・落としたり、強い衝撃を与えないでください。誤動作や故障の原因になります。
・腕帯を腕に巻いていないときは加圧させないでください。故障の原因になります。
・本品の分解・修理・改造はしないでください。故障の原因になります。
・気温 40℃以上または 10℃以下の環境に本品を保管した場合は、使用環境範囲内の気温に 2 時間以上保管後に測定をおこなってください。誤動作の原因になります。

製品仕様

販売名	上腕式血圧計 AS02
型番	HCM-AS02
医療機器認証番号	226AGBZX00064A01
測定方法	オシロメトリック法
測定方式	加圧中測定
圧力表示範囲	3 － 300mmHg（腕帯圧力）
血圧測定範囲	50 － 250mmHg（最高血圧） 40 － 180mmHg（最低血圧）
脈拍測定範囲	40 － 160 拍／分
最大圧力	300mmHg
環境条件による圧力表示誤差	150mmHg を超えない場合は ±3mmHg 以下、150mmHg を超える場合は測定値の 2% 以下
臨床性能試験による血圧測定の誤差※	聴診に対する 平均誤差　± 5mmHg 以内 標準偏差　8mmHg 以内
脈拍測定精度	± 5% 以内
停止操作	停止操作スイッチを切った後 30 秒以内に 15mmHg まで減圧
血圧測定の再現性	血圧判定の再現性は 3.0mmHg（0.4kPa）以下
加圧	自動（エアーポンプ）
排気	自動急速排気弁
電源	単 3 形アルカリ乾電池 4 本または専用 AC アダプター（ADP-W5-11）
電気的定格	単 3 形アルカリ乾電池 4 本使用時 DC6V／4W 専用 AC アダプター使用時 アダプター定格　AC100-240V 50/60Hz　0.12A 本体定格　DC6V　500mA
メモリー	60 回分の測定結果と平均値

使用環境	温度 10 ～ 40℃、相対湿度 15 ～ 85%RH（結露なきこと）
輸送・保管環境	温度 -20 ～ 60℃、相対湿度 10 ～ 95%RH（結露なきこと）
測定可能上腕周囲	約 22 ～ 42cm
本体寸法	幅約 122.2 ×奥行約 116.5 ×高さ約 69.9mm
本体質量	約 220g（付属品を含まない）
電撃保護	内部電源機器およびクラス II 機器 BF 形装着部
外来固形物及び水の有害な浸入に対する保護の程度による分類	IP20 （指の侵入に対する保護。水の浸入に対する保護は無し。）
空気・可燃性麻酔ガス、または酸素または亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中での使用の安全の程度による分類	空気・可燃性麻酔ガス、または酸素または亜酸化窒素・可燃性麻酔ガス中での使用に適しない機器
作動(運転)モードによる分類	連続作動（運転）機器

■ 製品に表示されているシンボルの意味

	クラスⅡ機器
	BF 形装着部
	付属文書をお読みください
	水濡れ厳禁

※ 試験方法は、ISO 81060-2:2013 に基づく。
本品は 1 気圧での使用を想定しています。
お断りなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

技術サポート

本品は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMD（電磁妨害）規格、IEC60601-1-2:2014 に適合している装置です。
医用電気機器は、電磁妨害に関する特別な注意が必要であり、以下の情報に従って使用される必要があります。
・本品は、高周波手術機器や MRI 装置（磁気共鳴画像装置）の近傍など、電磁妨害の強さが高い環境での使用を意図していません。
・本品を、他の機器に隣接させて、または積み重ねて使用しないでください。不適切な動作の原因になります。
・本品の製造者によって規定されているか、または提供されるもの以外の付属品を使用すると、本品の電磁エミッションが増加するか、または電磁イミュニティが減少し、不適切な動作の原因になる可能性があります。
・本品の性能の低下の原因になる可能性があるため、携帯型の RF 通信機器(アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、本品と共に使用されるケーブルを含む本品のどのような部分からも 30cm 以上離して使用してください。
IEC60601-1-2 の詳細については、製造販売業者にお問合せください。

ユーザーサポートについて

商品に関するお問い合わせは
エレコム総合インフォメーションセンター　受付時間／ 10:00 ～ 19:00（年中無休）
TEL.0570-084-465 FAX.0570-050-012

選べる！ 充実サポート

LINE でチャットサポート
LINEアプリから
友だち追加でかんたんに
チャットでお問い合わせ!

Web でチャットサポート
ブラウザーからでも
会員登録なしにお気軽に
ご相談いただけます。

チャットサポートは QR からアクセス!

電話でサポート　エレコム製品サポートからカテゴリーごとに「よくあるご質問」や「サポートコミュニティ」をご紹介。電話によるサポートが必要な場合は、サポートダイヤルをご用意しております。　連絡先はコチラから 8056.jp

※ LINE および LINE ヤフーロゴは、LINE ヤフー株式会社の登録商標です。

保証規定

■保証期間
1 年間

■保証内容
1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。
   ※保証期間を超過している場合、有償となります。

■無償保証範囲
2. 以下の場合には、保証対象外となります。
   (1) 購入証明書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
   ※購入証明書は、購入日、購入店、型番が確認できるもの(レシート・納品書など)を指します。
   (2) 購入証明書に偽造・改変などが認められた場合。
   (3) 中古品として本製品をご購入された場合。(リサイクルショップでの購入、オークション購入での中古品を含む)
   (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
   (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
   (6) 通常一般家庭、一般オフィス内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
   (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
   (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
   (9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■修理
3. 修理のご依頼は、購入証明書を本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全はおこなわず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■免責事項
8. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
9. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲
10. この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
    This warranty is valid only in Japan.